

令和8年度高松市こども未来館プラネタリウム投影用番組配給等業務委託に伴う企画コンペ実施要領

1 業務の目的

高松市こども未来館のプラネタリウムにおいて、その内容を充実させ、市民が天体や宇宙に興味や関心を抱く、より優れた番組を投影することを目的とします。

番組の選定に当たっては、事業者の提案内容を総合的に判断し、本業務に最も適した番組を選定するため、企画コンペを実施します。

2 業務の概要

(1) 業務名

令和8年度高松市こども未来館プラネタリウム投影用番組配給等業務委託

(2) 業務の内容

「令和8年度高松市こども未来館プラネタリウム投影用番組配給等業務委託仕様書」のとおり

(3) 履行期間

契約締結の日から令和8年7月17日まで

(4) 業務の履行場所

高松市こども未来館（高松市松島町一丁目15番1号）

(5) 提案上限額

7,250千円（消費税及び地方消費税額を含む。）

3 参加資格

本企画コンペに参加する資格を有する者は、次に掲げる要件の全てを満たす者としてします。

(1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 公表の日から契約締結の日までの間に、高松市指名停止等措

置要綱（平成24年高松市告示第403号）による指名停止の措置を受けている者でないこと。

- (3) 破産法（平成16年法律第75号）の規定による破産手続開始の申立て（同法附則第3条に規定する申立てを含む。）がなされている者でないこと。
- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）の規定による更生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- (5) 民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- (6) 参加表明書の提出日において納期の到来した市税、法人税（参加表明者が個人の場合は所得税）並びに消費税及び地方消費税を滞納していない者であること。
- (7) 過去3年間に、国（独立行政法人及び公社を含む。）又は地方公共団体が運営するプラネタリウムを有する施設に番組の納入実績があること。
- (8) 暴力団又は暴力団員若しくはその構成員等の統制の下にある者でないこと。

4 スケジュール

内 容	年 月 日
企画コンペの公表	令和8年5月11日（月）
企画コンペ関係書類の配布期間	令和8年5月11日（月）から 令和8年6月11日（木）まで
参加表明書の提出期限	令和8年5月25日（月）正午まで
参加資格の審査結果の通知	令和8年5月28日（木）まで
企画コンペに対する質問の受付期間	令和8年5月11日（月）から 令和8年6月 3日（水）正午まで
企画コンペに対する質問の回答期限	令和8年6月 5日（金）まで
企画書等の提出期間	令和8年5月28日（木）から 令和8年6月11日（木）正午まで
選定結果の通知	令和8年6月 下旬（予定）
契約の締結	令和8年7月 上旬（予定）

5 配布資料及びその配布方法

(1) 配布資料

ア 令和8年度高松市こども未来館プラネタリウム投影用番組配給等業務委託に伴う企画コンペ実施要領（本書）

イ 令和8年度高松市こども未来館プラネタリウム投影用番組配給等業務委託仕様書（以下「仕様書」という。）

ウ 提出書類様式

(ア) 参加表明書（様式第1号）

(イ) 会社概要書（様式第2号）

(ウ) 業務実施体制及び実績調書（様式第3号）

(エ) 辞退届（様式第4号）

(オ) 質問及び回答書（様式第5号）

(カ) 企画書（様式第6号）

- (キ) 参考見積書（様式第7号）
- (ク) 企画書の公開に係る意向申出書（様式第8号）
- (2) 配布方法
高松市ホームページからダウンロードしてください。
掲載URL
http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/jigyosha/nyusatsu/sections/proposal/r8/kohyo/sienseibi_up20260501.html

6 参加表明書の提出

- (1) 提出書類
 - ア 参加表明書（様式第1号）
 - イ 会社概要書（様式第2号）
 - ウ 業務実施体制及び実績調書（様式第3号）
 - エ 財務諸表等
直近の決算時における貸借対照表及び損益計算書
※決算時期の関係から、直近の決算時における財務諸表等の提出が困難な場合は、前回決算時の財務諸表等を提出してください。
 - オ 企画コンペ参加表明の提出日において納期の到来した市税法人税（個人の場合は所得税）並びに消費税及び地方消費税を滞納していないことが証明できるもの
- (2) 提出部数
「(1) 提出書類」のアからオまでについてそれぞれ1部
- (3) 提出方法
持参又は郵送（郵送の場合は一般書留又は簡易書留に限る。）
- (4) 提出期限
令和8年5月25日（月）正午まで
※受付時間は、休館日（5月12日、19日）を除く午前9時から午後5時まで、最終日については正午までとします。
※郵送の場合は、提出期限までに到着したものに限ります。

(5) 提出先

〒760-0068 香川県高松市松島町一丁目15番1号
高松市健康福祉局こども未来部こども未来館（担当：八木）

(6) 参加資格に係る審査結果の通知

参加表明者の参加資格の有無を、令和8年5月28日（木）までに通知します。提出期限までに参加表明書等が提出されなかった、又は到着しなかった場合若しくは参加資格を有する旨の通知を受けなかった場合は、企画書を提出することができません。

(7) 参加表明書提出後の辞退

参加表明書等を提出した後に、参加を辞退する場合は、辞退届（様式第4号）を提出してください。

7 質問及び回答

(1) 質問の受付期間及びその方法

本要領に基づく企画コンペに関し質問がある場合は、令和8年6月3日（水）正午までに、質問及び回答書（様式第5号）に質問事項等を記載の上、電子メールにより提出してください。

(2) 提出先

高松市健康福祉局こども未来部こども未来館（担当：八木）
メールアドレス：sienseibi@city.takamatsu.lg.jp

(3) 質問に対する回答

質問に対する回答は、その都度、質問者に対して電子メールで行うとともに、質問者を特定できない形で、その内容を高松市ホームページに掲載します。

企画コンペに参加をする者は、この回答の内容を確認の上、企画書を提出しなければなりません。企画書を提出した者は、回答を確認したのものとして審査を行います。

なお、質問に対する回答への問合せ及び異議の申立ては一切受け付けないこととし、以下に掲げる内容の質問に対しては回答自体を行わないものとします。

- ア 質問者の明らかな誤読
- イ 質問者の本企画コンペに関する個人的な意見
- ウ 質問者の提案しようとする内容についての是非を問うもの
- エ 質問者自らが判断又は調査すべきもの
- オ 本企画コンペに関係しないもの
- カ 電話、口頭等による質問
- キ 受付期間以外の質問

8 企画書等の提出

(1) 提出方法

参加資格の審査結果の通知において、参加資格を有する旨の通知を受けた者であって、本企画コンペへの参加の意思のあるもの（以下「提案者」という。）は、次のアからウまでに掲げる書類を、提出期限までに「(3) 提出先」に持参し、又は郵送（郵送の場合は一般書留又は簡易書留に限る。）してください。

なお、複数企画の提出を可とするものとします。

ア 企画書（様式第6号）及び関係書類又は既存のシナリオ若しくは試聴用DVD（以下「企画書等」という。）

（ア） 視聴用DVDは、家庭用の再生機で再生できること。

（イ） 企画（番組）内容は、仕様書及び「10 審査基準」を参考にすること。

（ウ） 追加で提供可能な番組、その他のソフト等又は集客増につながる提案（配布用ノベルティなど）がある場合、その概要を併せて提出すること。

（エ） 部数 6部（試聴用DVDの場合は3枚）

イ 参考見積書

参考見積書は、配布資料の参考見積書（様式第7号）により作成してください。また、その内訳書（任意様式）を添付し、具体的な項目や数量、金額等が分かるように記載してください。

(ア) 見積価格には次の費用を含むこと。

- a 番組制作費
- b 据付費及び撤去費
- c 打合せ経費
- d 消費税及び地方消費税の額

(イ) 番組の対象年齢及び投影時間を明記すること。

ウ 企画書等の公開に係る意向申出書（様式第8号）

企画書等の内容を本市が情報公開することについての意向を申し出てください。なお、詳細は、「13 提出書類の取扱い(4)」を参照してください。

(2) 提出期限

令和8年6月11日（木）正午まで

※受付時間は、休館日（6月2日、6月9日）を除く午前9時から午後5時まで、最終日については正午までとします。

※郵送の場合は、提出期限までに到着したものに限ります。

(3) 提出先

〒760-0068 香川県高松市松島町一丁目15番1号
高松市健康福祉局こども未来部こども未来館（担当：八木）

9 審査の方法等

(1) 審査方法

ア 受託候補者の選定を行うため、(2)で組織される「令和8年度高松市こども未来館プラネタリウム投影用番組選定委員」により、「10 審査基準」で示す評価の基準に基づき審査及び評価を行います。

なお、審査は非公開とします。

イ 審査の結果、得点が同点であった場合は、以下により評価順位を定める。

- a 追加で提供可能な番組、その他のソフト等又は集客増につながる提案（配布用ノベルティなど）がある場合、5点加点

する。

b aの加点後、なお同点の場合は、見積価格がより低い企画を選定する。

c bにおいて、得点・見積価格ともに同一となった場合は、「10 審査基準」(1)の視点において、NO.1の得点が高いものを選定する。

d a～cにおいて、なお同率の場合は、くじにより評価順位を定める。

なお、くじは、「契約監理課カウンタ見積箱への投函方式による見積合せに係るくじ要領」の例により行うものとする。

(2) 選定委員

選定委員は4名とし、教育に関する知識を有する者を含む本市職員によって組織する。

10 審査基準

(1) 企画書等の審査における具体的視点及び配点は以下のとおりとします。

NO.	視点	配点
1	物語・テーマや登場する人物・キャラクター等の知名度や人気が高いなど、利用者の関心を集めやすく、より多くの観覧者数が期待できる番組内容となっているか。	35
2	仕様書「2 番組内容等」(1)の対象者を中心的な対象とした内容であるとともに、幅広い年齢層が楽しめる要素が含まれているか。	20
3	天文に関連した内容が含まれているか。	15
4	映像が美しく、音響効果が優れているか。	10
5	見積価格は妥当か。(見積書の提案価格について、最も安価な提案を5点とし、同提案額を基準として、安価な順に1点減点していく。6位以降は配点なしとする。)	5
6	その他、来館者への記念品や展示物等、集客につながる工夫や提案など、特に評価すべき点があるか。	15

(2) 留意点

提案する番組については、いわゆる「光過敏性てんかん(光過

敏性発作)」等を誘発する可能性など、有害な刺激が含まれていないことを条件とします。

1.1 受託候補者の選定

- (1) 「1.0 審査基準」に示す審査の観点から、総合的に公平かつ客観的な審査及び評価を行い、審査項目ごとの評価を点数化し、総合点が評価点全体の7割以上であって、最も総合点の高い提案者を受託候補者に選定します。
- (2) 審査結果については、全ての提案者に対して、通知するものとしてします。
- (3) 審査結果の公表
提案者への審査結果の通知後、高松市ホームページに、公表するものとしてします。
- (4) 受託候補者との契約締結に係る協議の結果、合意に至らなかった場合、又は受託候補者と決定した提案者に1.4(3)に掲げる失格事項が生じた場合は、次点の提案者を契約の相手方として、契約締結に関する協議を行います。
- (5) 提案者が1事業者のみの場合であっても、当該提案者の総合点が評価点全体7割以上である場合には、当該提案者を受託候補者として選定します。

1.2 契約の締結

(1) 契約

受託候補者と当該業務に係る契約内容及び仕様等について協議を行い、その内容について合意をしたときは、必要に応じ当該業務に係る仕様書を修正の上作成するものとしてします。その後、仕様書（修正した仕様書を含む。）に基づき見積書を徴取し、その額が予定価格の範囲内であるときは、随意契約の方法により契約を締結します。

(2) 契約保証金

要します。ただし、高松市契約規則（昭和39年高松市規則第36号）第24条各号のいずれかに該当する場合は免除することができます。

（3） 委託料の支払条件

完了払いとし、本業務の検収後、正当な請求に基づき支払います。

1.3 提出書類の取扱い

（1） 提出された全ての書類は、返却しません。

（2） 提出後の書類に係る差替え、追加及び削除は認めません。

（3） 企画書等の著作権は、当該企画書等を作成した者に帰属するものとします。ただし、提出された企画書等の全部又は一部を無償で使用（複製、転記又は転写をいう。）する許諾を、作成者は本市に与えるものとします。

（4） 提出された書類については、本市は、高松市情報公開条例（平成12年高松市条例第39号）の規定に基づき、公開請求があった場合、その内容の全部又は一部を公開することがあります。また、その場合は、著作権法（昭和45年法律第48号）第18条第3項第3号に基づき、提出された書類のうちの著作物でまだ公表されていないものを公衆に提供し、又は提示することについて提出者が同意したものとみなされます。

この同意をしない場合は、その旨の意思表示が必要となります。

1.4 その他

（1） 言語及び通貨単位

手続において使用する言語及び通貨単位は、日本語及び日本国通貨に限ります。

（2） 費用負担

書類作成及び提出に係る費用など、企画コンペへの参加に伴い必要となる経費は全て参加者の負担とします。

本市がやむを得ない理由等により企画コンペを実施することができないと認めるときは、企画コンペの実施を中止し、又は取り消すことがあります。その場合において、参加者は、本企画コンペに要した費用を本市に請求することはできません。

(3) 失格事項

次のアからエまでに掲げる場合（以下「失格事項」という。）のいずれかに該当した場合は、その者を失格とします。

企画コンペへの参加者又は受託候補者と決定した提案者に失格事項が生じた場合は、企画コンペの参加資格を有する者としての決定又は受託候補者の決定を取り消します。このことにより参加者又は受託候補者に損害が生じた場合にあっても、本市はこれら損害について一切の負担をしません。

ア 参加資格要件を満たしていない場合

イ 提出書類に虚偽の記載があった場合

ウ 審査結果に影響を与えるような不誠実な行為を行った場合

エ 参考見積書の金額が、提案上限額を超過していた場合

1 5 周知事項等

(1) 高松市指名停止等措置要綱別表第26号の運用基準

平成24年6月1日から、高松市指名停止等措置要綱の別表の措置要件第26号にある「業務に関し不正又は不誠実な行為」について、これに該当する行為を次のとおり定め公表しています。御留意ください。

高松市指名停止等措置要綱別表第26号を適用し指名停止をする場合の運用基準(抄)

- 1 要綱別表第26号の「不正又は不誠実な行為」とは、中央公共工事契約制度運用連絡協議会による「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領中央公共工事契約制度運用連絡協議会モデルの運用申合せ」の例によるもののほか、有資格業者である個人又は有資格業者の役員若しくは使用人の、その業務に関する次に掲げる行為その他の著しく信頼関係を損なう行為をいう。
 - (1) 予定価格、最低制限価格等の秘密情報の提供を要求する行為等入札の公正を害すべき行為
 - (2) 入札に参加するに際し担当職員の指示に従わない等入札の秩序を乱す行為
 - (3) 監督又は検査の実施に当たり市職員の職務執行を妨げる行為
 - (4) 市職員に対する脅迫的な言動又は暴力的な行為
 - (5) 執拗な抗議等を行い、市職員の執務を妨害する行為
 - (6) 暴力団等から不当要求行為を受けた場合の報告義務違反
 - (7) 市職員による経理上の不正又は不当な行為への関与

(2) 不当要求行為の排除対策

市では、受託者（市との契約の相手方）が暴力団等から不当要求行為を受けた場合や当該不当要求行為による被害を受けた場合の、市への報告と所轄警察署への届出等を契約書において受託者の遵守事項として定め、市が発注する物品の買入れ等からの暴力団等の排除対策の強化を進めています。詳しくは、契約監理課ホームページを御参照ください。（もっと高松ホームページ <https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/> » 事業者の方 » 入札・契約情報 » 契約監理課ホームページ）

(3) 周知事項

売買、貸借、請負その他の契約を市との間で締結し専ら当該契約に係る業務、事務等の履行中において、法令等に違反する事実が生じ、又は生じるおそれがあると思料するときは、市の内部公益

通報制度により通報することができます（同制度における通報方法：電子メール又は書面を高松市公正職務審査会に提出（原則として提出者の氏名を明らかにする必要があります。）

⇒メールアドレス：naibu.tuho.shinsakai@nifty.com

書面提出の場合の宛先：総務局コンプライアンス推進課内高松市公正職務審査会）。

※ 市の内部公益通報制度について定めた「高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例」と同条例の施行規則（いずれも総務局コンプライアンス推進課所管）は、契約監理課ホームページに掲載しています。

（４） 適正な労働条件の確保

労働関係法規を遵守及び適正な労働条件の確保に関しては、次によること。

ア 所定労働時間については、労働基準法に基づき、工事の施工や業務の実施に当たっては、就労の実態を踏まえ、完全週休2日制の導入や1日の労働時間を縮減する等、法定労働時間の週40時間（特別措置の適用を受ける事業にあっては、週44時間）を遵守すること。また、時間外、休日及び深夜（午後10時から翌日の午前5時まで）に、労働させた場合においては、同法に定める率の割増賃金を支払うこと。

イ 雇入れの日から起算して6か月間継続勤務し、全労働の8割以上出勤した労働者に対して、最低10日の年次有給休暇を付与すること。いわゆるパートタイマー労働者についても、所定労働日数に応じて年次有給休暇を付与すること。

ウ 労働者の雇入れに当たっては、賃金、労働時間その他の労働条件を明示した書面を交付すること。

エ 賃金は毎月1回以上、一定の期日にその全額を直接、労働者に支払うこと。支払の遅延等の事態が起こらないよう十分配慮すること。賃金については、最低賃金法の定めるところにより最低賃金額以上の額を支払うこと。

オ 労働保険はもとより、労働者の福祉の増進のため健康保険及び厚生年金保険は法令に従い加入すること。なお、健康保険及び厚生年金保険の適用を受けない労働者に対しても、国民健康保険及び国民年金に加入するよう指導すること。

カ アからオまでに定めるもののほか、労働基準法、労働安全衛生法ほか労働関係法規を遵守すること。